

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2023 年 第 16 週（4月17日~4月23日）

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	5 人 類型 患者 3 人 無症状病原体保有者 2 人 血清型 O157 2 人、O26 2 人 不明 1 人
四類感染症	報告なし
五類感染症 アメーバ赤痢	1 人 病型 腸管アメーバ症
加バ [△] 私耐性腸内細菌科細菌感染症	4 人 菌種 <i>Escherichia coli</i> 2 人 <i>Klebsiella aerogenes</i> 1 人 <i>Serratia marcescens</i> 1 人
急性脳炎	1 人 病原体 新型コロナウイルス
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人 血清群 B 群
後天性免疫不全症候群	1 人 病型 A I D S
侵襲性肺炎球菌感染症	2 人
梅毒	6 人 病型 早期顕症 期 3 人、 早期顕症 期 2 人 無症状病原体保有者 1 人

新型コロナウイルス感染症については、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>) 内の「陽性確認者」を参照してください。

<定点把握対象疾患の患者情報>

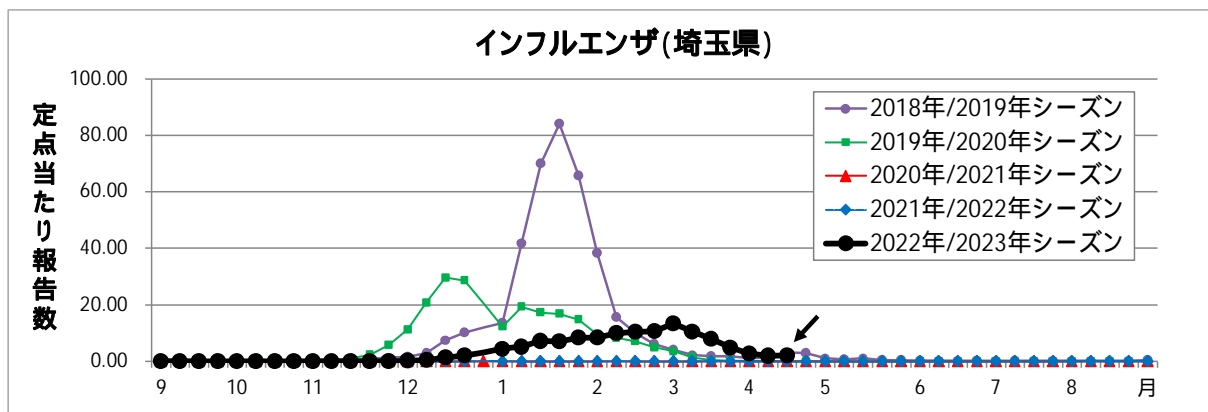
小児科及び内科定点把握対象疾患では、インフルエンザ(1.85 2.09：図 1)の定点当たり報告数は、同水準であった。保健所別では、南部(5.50)、熊谷(4.54)保健所管内からの報告が多い。RS ウイルス感染症(0.68 0.84：図 2)の定点当たり報告数は、第 13 週以降、増加傾向にある。保健所別では、幸手(3.33)、本庄(3.25)保健所管内で大きく増加し、草加(2.18)保健所管内からの報告が多い。

眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 2 人、流行性角結膜炎 7 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、感染性胃腸炎（ロタウイルス）1 人の報告があった。

全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL：<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

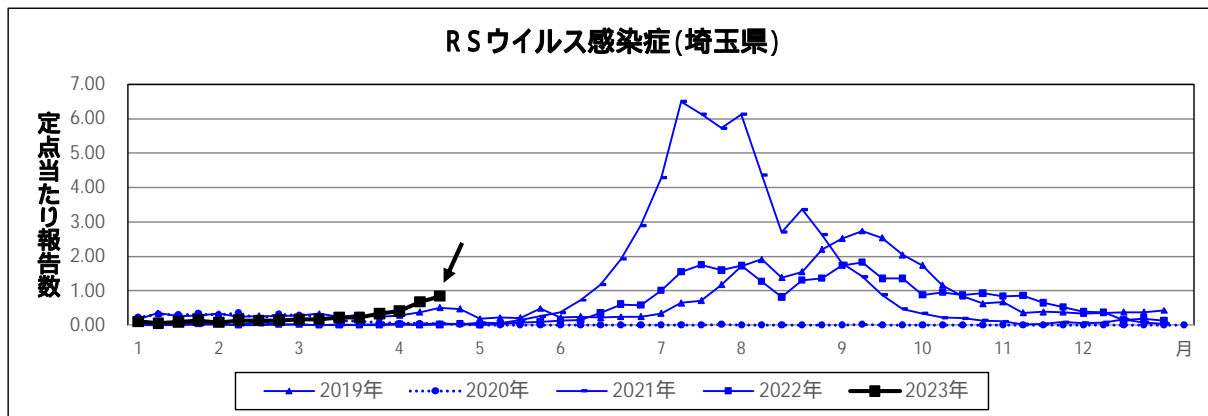
< インフルエンザ流行情報 (第16週) - 小児科定点・内科定点からの報告 - >

図1 定点当たり報告数の推移



< 今週の注目される定点把握対象疾患の推移 >

図2 RSウイルス感染症



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第16週)

(2023年4月25日 16:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		3	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	5	20			
四類感染症					
E型肝炎		13	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘		3	ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症		15
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		1	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	9	侵襲性肺炎球菌感染症	2	19
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		3	水痘(入院例に限る)		2
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	20	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		2	梅毒	6	139
急性脳炎	1	12	播種性クリプトコックス症		1
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	12	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	12	百日咳		10
ジアルジア症		1	風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		2	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症*2				

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

*2 県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)内の「陽性確認者」を参照してください。

		感染症発生状況(定点把握対象疾患)					報告患者数		保健所別 (2023年第16週)					4月17日~4月23日)							
保	健 所	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ(入院)	
		#1																			
全	県	報告数	533	136	38	97	916	26	24	1	80	8	7	2	7	-	-	-	-	1	-
		定点当たり	2.09	0.84	0.23	0.60	5.65	0.16	0.15	0.01	0.49	0.05	0.04	0.05	0.17	-	-	-	-	0.09	-
朝	霞	報告数	22	7	3	5	98	8	1	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
		定点当たり	0.96	0.47	0.20	0.33	6.53	0.53	0.07	-	0.20	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-
鴻	巣	報告数	11	10	3	10	90	1	2	-	12	-	2	-	*	*	*	*	*	*	
		定点当たり	0.58	0.83	0.25	0.83	7.50	0.08	0.17	-	1.00	-	0.17	-	*	*	*	*	*	*	
東	松山	報告数	6	-	-	-	6	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		定点当たり	0.75	-	-	-	1.20	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秩	父	報告数	8	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	
		定点当たり	1.60	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	
本	庄	報告数	9	13	-	1	3	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
		定点当たり	1.29	3.25	-	0.25	0.75	0.25	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊	谷	報告数	59	7	-	1	38	1	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		定点当たり	4.54	0.88	-	0.13	4.75	0.13	-	-	0.88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
加	須	報告数	10	-	-	-	4	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		定点当たり	1.11	-	-	-	0.67	0.17	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
春	日部	報告数	13	-	4	4	81	2	-	-	4	-	2	-	*	*	*	*	*	*	
		定点当たり	1.30	-	0.67	0.67	13.50	0.33	-	-	0.67	-	0.33	-	*	*	*	*	*	*	
幸	手	報告数	17	30	5	2	13	1	-	-	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
		定点当たり	1.31	3.33	0.56	0.22	1.44	0.11	-	-	0.11	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
坂	戸	報告数	6	1	-	-	34	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		定点当たり	0.60	0.17	-	-	5.67	-	0.50	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草	加	報告数	50	24	6	7	54	1	5	-	3	-	-	1	*	*	*	*	*	*	
		定点当たり	3.13	2.18	0.55	0.64	4.91	0.09	0.45	-	0.27	-	-	0.33	*	*	*	*	*	*	
狭	山	報告数	65	7	6	18	78	2	2	-	13	1	2	2	-	-	-	-	-	-	
		定点当たり	2.60	0.44	0.38	1.13	4.88	0.13	0.13	-	0.81	0.06	0.13	0.40	-	-	-	-	-	-	
南	部	報告数	44	5	-	12	67	1	1	1	6	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
		定点当たり	5.50	1.00	-	2.40	13.40	0.20	0.20	0.20	1.20	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
川	越市	報告数	34	-	-	-	25	1	6	-	2	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
		定点当たり	2.43	-	-	-	3.13	0.13	0.75	-	0.25	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
越	谷市	報告数	42	3	-	5	36	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		定点当たり	3.23	0.38	-	0.63	4.50	0.13	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
川	口市	報告数	65	11	5	24	126	4	1	-	4	1	-	2	-	-	-	-	-	-	
		定点当たり	3.25	0.85	0.38	1.85	9.69	0.31	0.08	-	0.31	0.08	-	0.50	-	-	-	-	-	-	
さい	たま市	報告数	72	18	6	7	163	1	3	-	14	4	1	3	-	-	-	-	1	-	
		定点当たり	1.71	0.67	0.22	0.26	6.04	0.04	0.11	-	0.52	0.15	0.04	0.33	-	-	-	-	1.00	-	

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

4月 25日

15:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2023年第16週

4月17日～4月23日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	533	4	5	21	24	35	63	45	60	38	28	29	69	19	14	30	31	9	5	2	2	
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	136	14	31	39	16	21	10	3	-	-	1	-	1	-	-							
咽頭結膜熱	38	1	2	13	11	5	4	2	-	-	-	-	-	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	97	-	1	5	4	12	17	16	13	5	7	5	12	-	-							
感染性胃腸炎	916	9	69	104	112	125	107	91	53	48	38	37	68	7	48							
水痘	26	-	-	1	-	4	3	3	4	5	3	1	2	-	-							
手足口病	24	-	4	2	6	5	2	4	-	-	-	1	-	-	-							
伝染性紅斑	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
突発性発しん	80	-	18	46	11	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	8	-	-	1	3	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎	7	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	2	1	1	-							
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	3	-	1	-	-	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					

表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第14週 (4月3日～4月9日)

令和5年4月26日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第11週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(14.06)、山形県(11.14)、青森県(7.03)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は93例と前週と比較して減少した。都道府県別では33都道府県から報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～9歳(34例)、10代(9例)、20代(1例)、30代(4例)、40代(3例)、50代(1例)、60代(5例)、70代(13例)、80歳以上(20例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第9週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(2.40)、福井県(1.74)、佐賀県(1.61)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県(0.48)、群馬県(0.46)、佐賀県(0.43)、鹿児島県(0.43)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(2.11)、福岡県(2.03)、沖縄県(1.21)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は石川県(10.66)、大分県(9.53)、宮崎県(8.17)である。手足口病の定点当たり報告数は第10週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(4.03)、福井県(0.43)、長崎県(0.36)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は高知県(0.07)、徳島県(0.04)、滋賀県(0.03)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第10週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は熊本県(1.46)、長崎県(1.05)、佐賀県(0.78)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は熊本県(0.10)、佐賀県(0.09)、大分県(0.08)、宮崎県(0.08)である。

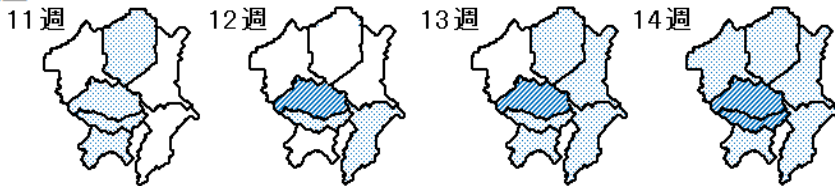
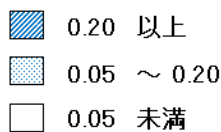
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は石川県(0.40)、高知県(0.38)、山形県(0.10)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。2都道府県から2例報告があり、年齢別では1～4歳(1例)、10代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年第14週(4月3日～4月9日): 通巻第25巻第14号 より

<関東情報>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、埼玉県(0.42)、東京都(0.25)からの報告が多い。

RSウイルス感染症



2023年 14週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	13,580	3,345	209	212	219	707	366	953	679
	定点当たり	2.77	2.22	1.74	2.79	2.52	2.72	1.78	2.32	1.94
RSウイルス感染症	報告数	1,662	183	4	8	3	68	11	64	25
	定点当たり	0.53	0.19	0.05	0.17	0.06	0.42	0.09	0.25	0.11
咽頭結膜熱	報告数	539	147	14	3	25	35	17	30	23
	定点当たり	0.17	0.15	0.19	0.06	0.46	0.21	0.13	0.12	0.10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	1,537	356	35	20	12	71	46	99	73
	定点当たり	0.49	0.37	0.47	0.42	0.22	0.44	0.36	0.38	0.33
感染性胃腸炎	報告数	11,647	2,939	151	94	174	580	396	954	590
	定点当たり	3.72	3.08	2.01	1.96	3.22	3.56	3.07	3.67	2.63
水痘	報告数	301	130	6	6	6	36	12	31	33
	定点当たり	0.10	0.14	0.08	0.13	0.11	0.22	0.09	0.12	0.15
手足口病	報告数	295	33	4	1	1	11	1	11	4
	定点当たり	0.09	0.03	0.05	0.02	0.02	0.07	0.01	0.04	0.02
伝染性紅斑	報告数	30	13	1	-	1	4	-	4	3
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	-	0.02	0.02	-	0.02	0.01
突発性発しん	報告数	752	235	6	11	17	53	31	69	48
	定点当たり	0.24	0.25	0.08	0.23	0.31	0.33	0.24	0.27	0.21
ヘルパンギーナ	報告数	319	28	3	-	2	5	1	10	7
	定点当たり	0.10	0.03	0.04	-	0.04	0.03	0.01	0.04	0.03
流行性耳下腺炎	報告数	95	42	2	2	3	8	6	12	9
	定点当たり	0.03	0.04	0.03	0.04	0.06	0.05	0.05	0.05	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	4	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.00	-	-	-	-	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	191	75	21	2	8	4	8	4	28
	定点当たり	0.28	0.36	1.24	0.17	0.57	0.10	0.23	0.11	0.56
細菌性髄膜炎 #2	報告数	7	2	-	-	1	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	0.11	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	14	4	-	-	-	-	1	1	2
	定点当たり	0.03	0.05	-	-	-	-	0.11	0.04	0.20
マイコプラズマ肺炎	報告数	10	1	1	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	0.08	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--:0.00)

埼玉県の腸管出血性大腸菌検出状況(2022 年)

埼玉県で 2022 年に検出され、衛生研究所で確認した腸管出血性大腸菌は 119 株でした。26 血清型が検出され、O157:H7 が最も多く、64 株(53.7%)でした。次いで O26:H11 が 18 株(15.1%)、O157:H- が 6 株(5.0%)と続きました。2021 年から、埼玉県を含め全国的に検出された O156:H25 については、引き続き 2022 年の前半に 2 株検出されました。

毒素型については、O157:H7 では VT1,VT2 産生株が 36 株、VT2 単独産生株が 26 株、O26:H11 では VT1 単独産生株が 15 株でした。なお、O26:H11 では検出が稀な VT2 単独産生株が 2 株みられました。

検出された 119 株のうち、41 株(34.5%)は患者発生に伴う家族検便や給食従事者等に対する定期検便で無症状者から検出されたものでした。最も多く検出された O157:H7 では 20.3%(13 株/64 株)が無症状者から検出されました。

表 腸管出血性大腸菌の血清型・毒素型別検出数(2022 年)

血清型	毒素型			計
	VT1	VT2	VT1&2	
O157:H7	2	26	36	64
O157:H-	1	2	3	6
O26:H11	15	2	1	18
O111:H-	-	-	2	2
O8:H-	-	2	-	2
O84:H2	2	-	-	2
O91:H-	-	-	2	2
O103:H2	1	-	1	2
O112ab:H2	2	-	-	2
O121:H19	-	2	-	2
O156:H25	2	-	-	2
その他	7	7	1	15
	32	41	46	119

検出株については、MLVA 法による遺伝子型別を実施しました。O157:H7 は 64 株が 41 パターンに、O26:H11 では 18 株が 14 パターンに分けられました。県内では散発事例のみの発生であり、特定の MLVA 型の集積も確認されませんでした。なお、当所で 2022 年 12 月に 2 株確認した O26:H11,VT2 単独産生株は、全国で 66 株(2023 年 4 月 12 日現在)の集積がみられた MLVA 型グループに該当しました。

感染拡大防止に向けて、推定感染原因の情報共有と感染状況の把握が重要となります。

トップページ > 県政情報・統計 > 県概要 > 組織案内 > 保健医療部 > 保健医療部の地域機関 > 衛生研究所 > 感染症情報センター > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2023年 > 感染症の流行状況 2023年 第16週

感染症発生動向調査 2023年

- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第15週](#)

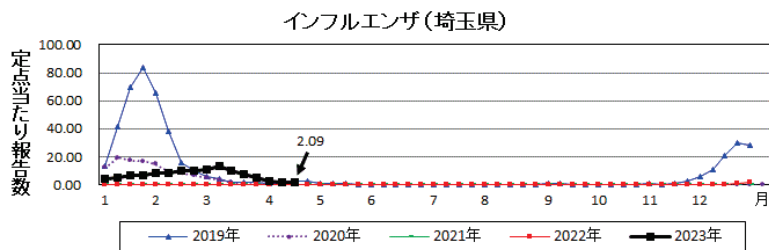
感染症の流行状況 2023年 第16週

2023年第16週（4月17日～4月23日）の要点 令和5年4月26日

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週と同水準でした。

外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [COVID-19\(新型コロナウイルス感染症\)に関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	↑	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	↑	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	→	★
手足口病	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

